

KOBE発 防災教育と 実践への チャレンジ

若者の想い“過去・現在・未来”を知り・次世代への発信



「防災教育」とは特別なものでしょうか？
1995年1月17日の阪神・淡路大震災を経験した兵庫では、その教訓を活かし、地域・行政・教育機関において様々な「防災教育」が推進されてきました。震災から27年。震災を経験した若者、経験していなくてもその後発生した被災地支援に取り組んできた若者が、兵庫・神戸で学んだこと(過去)が、今(現在)の自分にどのように根付いているのか。また、これから(未来)どのように防災・減災・社会貢献について取り組んでいきたいのかなど、「過去・現在・未来」を若者の想いに触れながら、市民ひとりひとりが「防災」を学ぶ大切さや、これからの「防災」について一緒に考えます。

2022年10月22日(土)

16時30分～18時00分(受付開始:16時20分～)

会場: IHDセンタービル(国際健康開発センタービル)
3階 会議室1(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1)

定員: 80名(先着順)

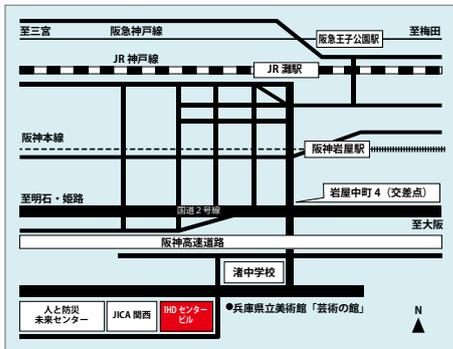
参加費: 無料

申込方法: 右のQRコードから申込フォームに
アクセスいただき必要事項を入力の上
お申込みください

申込締切: 2022年10月19日(水)まで



<申込フォーム>



■ 電車でお越しの方

JR神戸線灘駅より徒歩約13分
阪神岩屋駅より徒歩約10分
阪急王子公園駅より徒歩約20分

■ バスでお越しの方

神戸市バス29系統・100系統・101系統
「県立美術館前」下車西へ徒歩約1分

PROGRAM

16:30～16:35 開会挨拶

16:35～16:55 トークセッション

テーマ: ひょうごの防災教育の歩み
～兵庫県立大学・神戸学院大学の事例から～
森永 速男(兵庫県立大学 名誉教授)
前林 清和(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授)

16:55～17:25 活動事例紹介

事例1 東日本大震災後の福島県相馬市における復興支援活動
三浦 広志(特定非営利活動法人野馬士)
田中 修弥(兵庫県立大学学生ボランティア団体・LAN)

事例2 高等学校をHUBとした地域防災活動
難波 滋(兵庫県立尼崎小田高等学校)
仁木 貴之(兵庫県立大学防災リーダー教育プログラム)

事例3 神戸学院大学における地域防災の取り組み
小山田 遥、國松 万熙(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)

17:25～17:55 パネルディスカッション

テーマ: 若者の想い“過去・現在・未来”を知り・次の世代へ発信
コーディネーター: KAZZ(防災音楽ユニットBloom Works)
<パネリスト>
中田 愛香(兵庫県立舞子高等学校 環境防災科)
土地 美聡(兵庫県立大学 環境人間学部)
戸田 咲(兵庫県立大学 卒業生)
信川 亮太(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)
喜田 悠太郎(神戸学院大学・兵庫県立大学大学院 卒業生)

17:55～18:00 閉会挨拶

◎個人情報の取り扱いについて

本事業の申込にてご提供いただきました個人情報は本イベントの受付、運営に関する業務にのみ使用いたします。また、ご本人様の同意がある場合、または、法令に基づく正当な履修がある場合を除き、上記目的以外での利用及び第三者への開示・提供はいたしません。



「防災推進国民大会(通称「ぼうさいこくたい」)2022」が、近畿圏では初めて兵庫県神戸市(HAT神戸を中心とするエリア)で令和4年10月22日(土)・23日(日)に開催されます。「ぼうさいこくたい」は産官学、NPO・市民団体や国民が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し交流する日本最大級の内閣府主催の防災イベントです

主催: 神戸学院大学、兵庫県立大学

問い合わせ先: g_urakawa@drg.u-hyogo.ac.jp